



3. 11 昨日は、各担任から自分の経験を踏まえて
震災についての話をしました。
全校で、14時過ぎに黙祷しました。

いよいよ来週17日（月）は、卒業式です。

昨日は、町内の中学校でも卒業式が行われました。
今日12日（水）は、県立高等学校の入学選抜学
力検査の結果の発表が行われることもあり、先生や
友達との別れ、それぞれの道への旅立ちは、小学校
とは違った雰囲気があります。

本校でも今日は卒業式の予行練習が行われまし
た。

卒業式本番に向けて子供たちの気持ちが高まって
きています。6年生の卒業証書の受け取り方や式の
際の振る舞いを何度も確認しながら練習に取り組ん
でいる姿勢に感心しました。4・5年生も卒業式へ
の参加に向けて真剣に練習に取り組んでいます。本
当によく取り組んでいて今日の様子も保護者の皆さ
んに見ていただきたいぐらいでした。

【写真は昨日の学年ごとの練習。上は6年生、下は4・5
年生。先生たちの指導にも気持ちがかもっています。】



PTA本部役員会

6日（木）18：30、図工室でPTA本部役員会が行われました。

これで、今年度5回目です。毎回、子供たちのために、保護者の皆さんのために、先生
たちのためにと、前例にとらわれずよりよい方策を話し合っています。学校の
考えに理解、協力していただき、背中を押していただいていることに感謝しています。

今回は、今年度の振り返りと来年度に向けての計画について話し合いました。本郷小学
校全体を考えて、あたたかく、親身になって考えてくださることに頭が下がります。

本当に有り難く、こんなにあたたかい方々となら、これからも頑張れる！という想いを
強く持ちました。

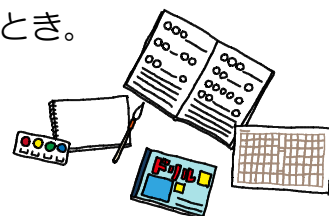
「先生になってよかったあ！」

先日は、「働き方改革」について紹介しました。「たいへんだあ！」ばかりの話になっ
てしまったので、今回は、「先生になってよかったと感じる（た）時」をテーマに、
本校の先生たちからの一言を掲載します。



- 直接ありがとうを伝えてもらえる。
- 子供ができるようになった場面を見られる。
- 子供の成長を実感した瞬間。昨日までできなかったことができるようになった時、子供
以上に喜びを感じる。
- できなかったことができるようになり、子供が喜んでいる姿が見られたこと。
- 子供たちが、「分かった！」「できた！」「楽しい！」と感じたときに見せる笑顔や小さ
なガッツポーズなどを見たときは、この仕事について良かったと感じます。
- 手がかかっていたあの子やこの子が、いきいきと当番活動に取り組む姿を見た時や、「九
九できるようになったよ、聞いててね」など言われた時は、よかったなと思ったし、子
供の力ってすごいなと思いました。『先生になってよかった』とは違うかもしれませんが。

- 児童生徒の成長を感じられた時。自分が教えた生徒が結果を出したとき時。結果だけではなく、目標に向かって努力しようと頑張るようになったときなど。学級最後の日にこのクラスでよかったやこのクラスが終わってほしくないという言葉を書いてくれた時。授業が楽しいと言ってくれること等。
- 卒業生が頑張っているという話を聞いた時、その生徒に関われてよかったなあと感じることがあります。
- 高学年、大人に対して強い言葉や態度を示す子供たちが「先生、教えて！分かった！できた！」と笑顔で答える姿にやりがいを感じます。
- 卒業生が立派な姿になって会いに来てくれたとき。
- 子供たちが自分たちの力で、今までできなかったことができるようになったとき。
- 子供たちの純粋な優しさや思いやりに触れることができたときに幸せな気持ちになります。
- 先生方を支えるために事務職員になりました。先生方が子供たちのことを考え、懸命に努力している姿を見られることが良かったことです。
- 子供たちが成長していく様子を、近くで見届けることができる！とても幸せです。
- 発想の豊かな子供たちと一緒に学ぶことができ、楽しいです！
- 子供たちや保護者の方が何気ない日常での出来事を気軽に話してくれること。
- 子供たちとかかわれることでいろいろな刺激を受けることができること。手当てや話したり、かかわったことで少しでも痛みが軽くなった、気持ちが楽になったと思ってもらえたと感じた時がとてもうれしいです。
- 教えていた子が立派な大人になった姿に出会ったとき。
- わかった！できた！とかわいい笑顔ではしゃいでいる子供を見たとき。
- 自分の働きかけにより、
 - ①子供が徐々によい方向に変わっていく姿が見られたとき。
 - ②子供に力を与えられたとき。
 - ③子供に喜びを与えられたとき。
 - ④子供と1つになれたとき。
 - ⑤子供にこちらの熱意が伝わって、頑張ってくれたとき。
- 大変なこともたくさんありますが、自分の「やりたい・楽しい」を仕事にできていることです。
- わかった、できた、の笑顔を見られること。
- 工夫して実践した授業で、子供たちが楽しんで生き生きと活動し、学んでいるときに幸せを感じます。
- 卒業生が久しぶりに顔を見せてくれたこと。代表児童が一生懸命練習して、本番でその成果が発揮できたとき。給食をおいしく食べながら、話をするとき。苦手な教科をがんばって諦めずに取り組み、点数につながったとき。お家の方にいいことで電話連絡したときに、一緒に喜びを共有できたとき。
- 子ども達の成長をそばで感じる時。
- できなかったことがいつの間にかできるようになっていたとき。
- 先生「ありがとう」「わかった」「できた」など子供が笑顔になったとき。
- 毎日のおいしい給食を食べているとき。
- 子供たちと心が通い合っている、と感じられたとき。
- 子供たちと接しているとパワーをもらえる。子供の純粋な心に触れて自分の心も成長できた。
- 子供たちの成長に関われたとき。少しでも子供たちや先生方の役に立てたと思えたとき。



それにしても、「一言で」と頼んだのに、いっぱい書いてくれました。

これほど人と人とのつながりを感じられる職業は、他にないのではないのでしょうか。子供たちとの触れ合いはもちろんのこと、保護者の皆さんと思いを共有できたとき、仲間の先生たち、職員全員で協力しあって物事を進めていく時、やりがい、感動、喜怒哀楽みんな含めて…魅力いっぱいの仕事です。

世の中には「ブラック」などという人もいますが、いろいろあっても、子供たちの何気ない一言や笑顔に報われてしまう。

やっぱり先生は、やめられない！

